

■ご使用にあたっての注意事項

生産中止図面

2013/04

※使用にあたっての注意事項

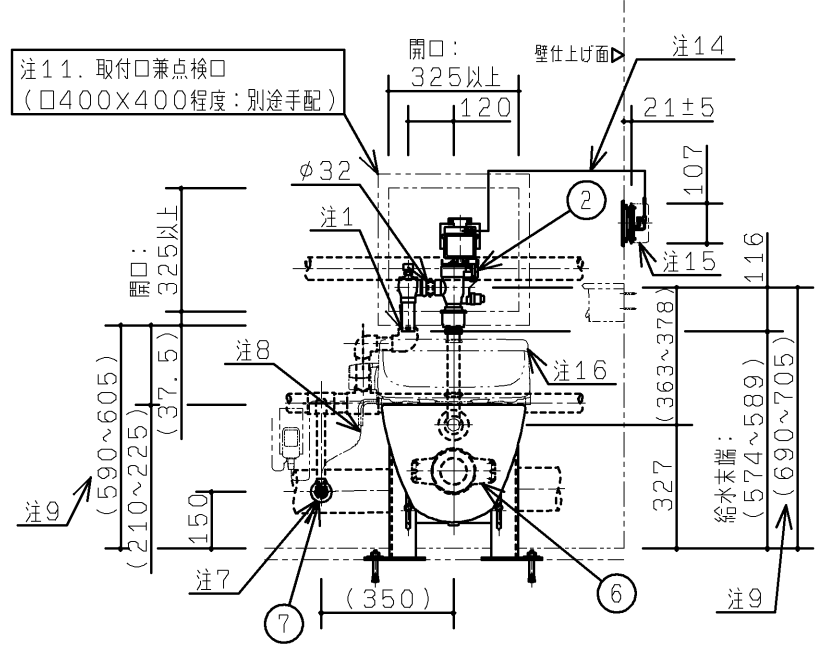
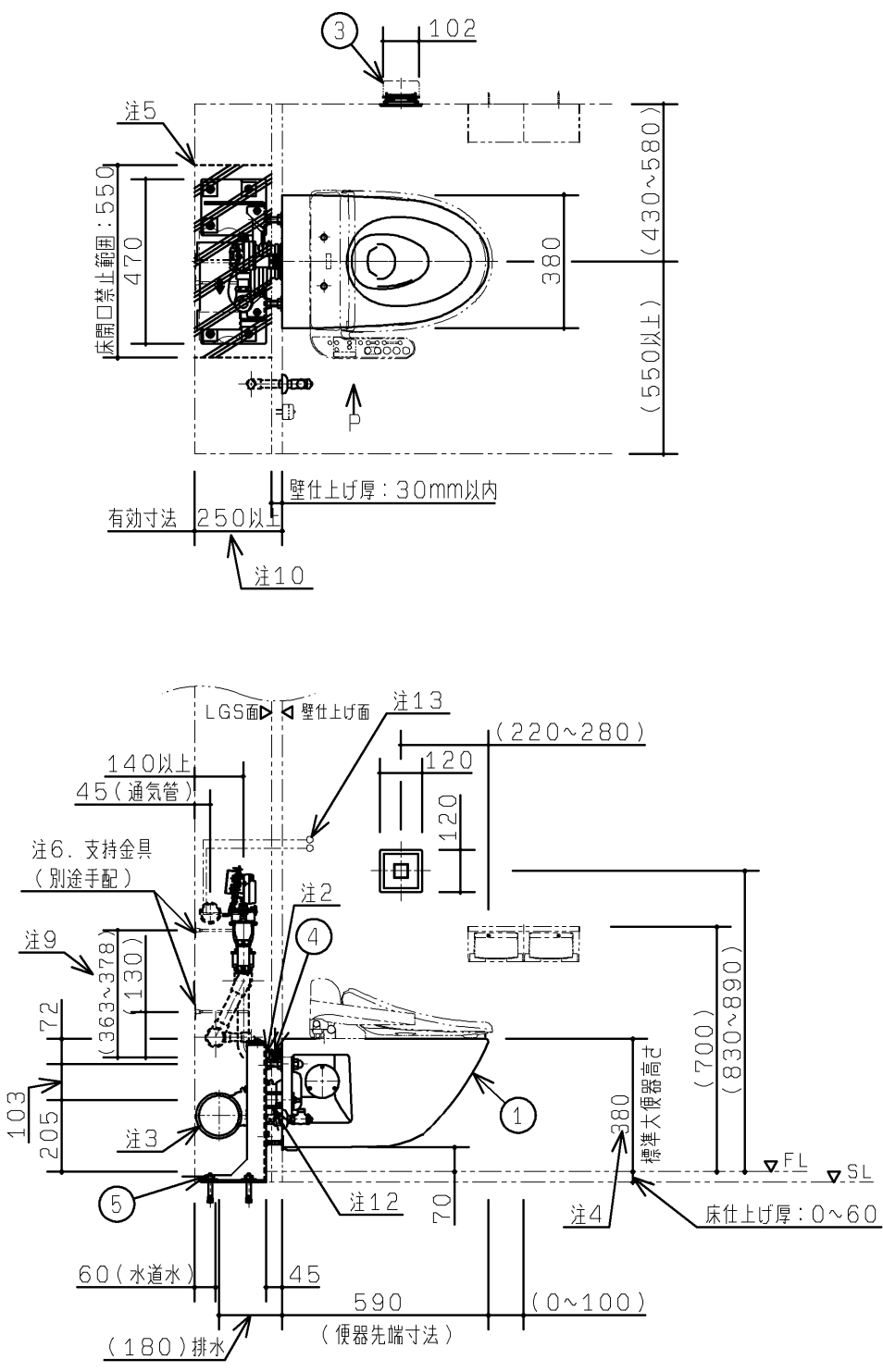
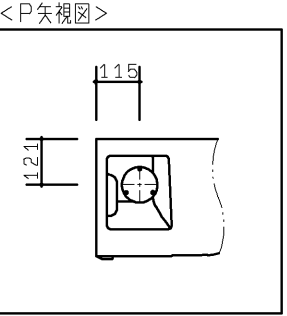
（故障の原因となります。）

（部材や下地が腐食することで商品が脱落し、けがや重大事故につながるおそれがあります。）

※詳細につきましては、取扱説明書を参照してください。

壁掛大便器取付スタンド設置条件

床コンクリート仕様	圧縮強度20.6MPa以上、鉄筋のかぶり厚50mm以上
	養生期間 28日以上（アンカー施工時）
	ベースプレートの周囲40mmの範囲は開口や欠損禁止
パイプスペースの奥行き寸法	壁厚（30mm以内）を含め250mm以上
壁仕上り厚調整範囲	30mm以内（下地の耐水合板を含む）
床仕上り厚調整範囲	60mm以内（標準取付け高さの場合）、便器高さUP寸法+仕上り厚：60mm以内



器具明細			
品番	番号	品名	数
UAXC1ALDL	—	壁掛大便器セット	1
※1 UAXC1ALDLの内訳			
品番	番号	品名	数
C473PLC	①	便器（エロンゲートノフチなしトルネード式／左機枠口）	1
TEF16A	②	自動フラッシュバルブ（水道水仕様）	1
TES26TE	③	センサースイッチ	1
TU82C32D	④	スパッド	1
UTR855Y	⑤	壁掛大便器取付スタンド	1
UTR307	⑥	横引排水管継手（左抜き用）	1
《別売品》			
—	—	便座	1
—	—	紙巻器	1
TH484V3	⑦	専用止水栓	1

- ※下記、工事区分目安です。現場にて事前に工事区分の確認をしてください。
- | | |
|------|---|
| 設備工事 | 注1：ねじサイズ R1 管端防食継手（給水専用）で設備配管と接合ください。
注2：洗浄管：φ31.75（自動フラッシュバルブに含まれます）
注3：排水は末端の呼び径100で準備ください。
注4：便器取付高さは用途に応じて、370～440の範囲で設定が可能です。（SL～FL＝0の場合）
注5：配管の立ち上げは、床開口禁止範囲（壁掛大便器取付スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）を避けた位置から取り出してください。
注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。
参考：カクタイ（品番：2211・2216）相当品
注7：給水専用止水栓 ねじサイズR1/2（温水洗浄便座を使用する場合）
注8：フレキホース長さ 0.95m（温水洗浄便座を使用する場合）
注9：自動フラッシュバルブ設置高さと点検口取付高さは上記注4の範囲で連動して設定してください。
注10：パイプスペースの奥行き寸法は、洗浄管の投続可能範囲内で設計してください。投続可能範囲については、「設備工事（横引配管）（2/3）」図面を参照してください。
注：本大便器は、フラッシュバルブ専用です。
注：壁掛大便器取付スタンドは下地補強なしで施工できる本大便器専用の取付スタンドです。
施工に当っては、UTR855系の製品図面と施工説明書を参照ください。
注：排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。
注：給水には最低必要水压（流動時）0.07MPaを確保してください。（最高水压（静止時）0.75MPa）
注：FV用の給水管径は25A以上としてください。
温水洗浄便座用の給水管径は15A以上としてください。
注：給水スパッド締付けの作業性向上が図れる専用工具も用意しております。
必要に応じて別途手配ください。（品番：UTR900S）
注：便器裏開口形状についてはスタンド同梱の型紙を利用ください。 |
| 建築工事 | 注11：点検口（別途）は、施工時に給水スパッドの締付等の器具取付口を兼ねています。壁開口は左に示す寸法で必ず開けてください。
注12：排水フランジをタッピンねじで壁下地に固定する必要があるため、排水フランジ周りの下地は耐水合板（≧9mm以上）としてください。 |
| 電気工事 | 注13：電源AC100V 50/60Hz VVF2×1.6mmを製品端子台に投続のこと
注14：信号線（10m、スイッチユニットに付属）埋め込み壁に事前に電線管を通しておきます。
注15：中形四角アウトレットボックス（JIS C8340別途手配）
注16：温水洗浄便座を使用する場合は温水洗浄便座に合わせた電源工事が必要です。
※便座定格：使用する便座を確認のうえ設定してください。 |

※壁掛大便器専用ライニングを設置して温水洗浄便座を使用する場合は温水洗浄便座給水取り出し位置が異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

※座る動作に障がいのある方が使用する場合は、過剰な横荷重が便座に加わることで、便座が外れて転倒し、けがをする場合もあります。

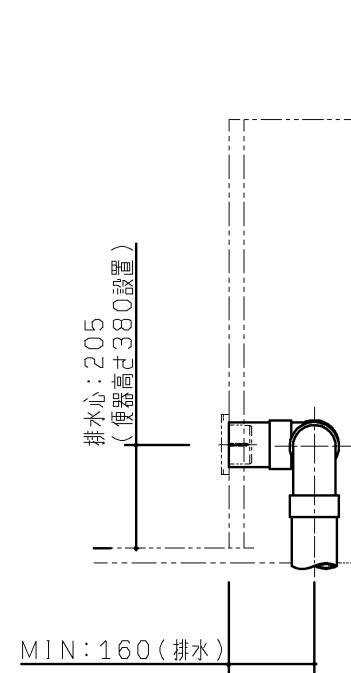
外れ防止のため強度アップ品に仕様変更した専用便座をご使用ください。

※施工および建築条件などは、各器具の施工説明書を確認ください。

※商品（図面）は諸般の事情により、予告なく改良・仕様変更などを行う場合があります。

TOTO		第三角法	単位 mm	名称 腰掛式壁掛大便器セット （水道水仕様／横引左排水／タイルセンサースイッチ／左掃除口）
製図 占部	検図 熊坂 本口	日付 13. 11. 29	尺度 1：20	品番 UAXC1ALDL
備考				図番

水道水仕様



注：給水には最低必要水压（流動時）0.07MPaを確保してください。（最高水压（静止時）0.75MPa）
注：壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを選ける位置に配管を立ち上げてください。

排水心：205
(便器高を380設置)

型紙指示外形

器具心

120 120

$\phi 80 \pm 2$

$\phi 60 \pm 5$

122 19

122 103

$\phi 130 \pm 5$

$\phi 30 \pm 1$

壁仕上げ面

器具心

壁仕上げ面

ラインニング
仕上げ面

壁掛大便器取付スタンド

スタンド高：405

床仕上げ面

器具取付ボルト
308

45

柱端：100

柱幅：340

235 235

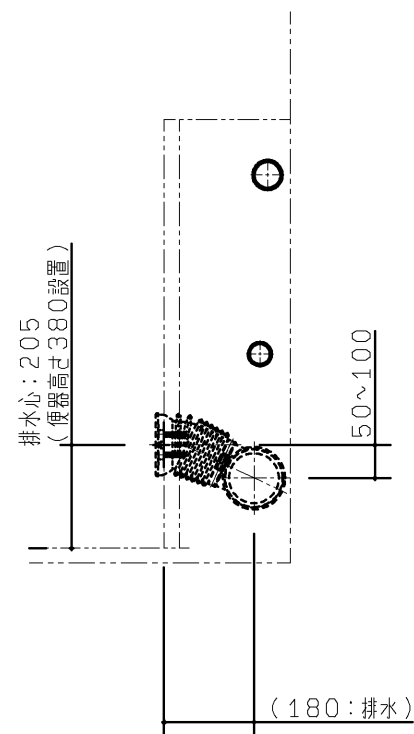
スタンド幅：470

注5 床開口禁止範囲：550

(参考) スタンド外形図

TOTO		第三角法	単位 mm	名称 壁掛6L大便器セット事前施工情報
製図 占部	検図 熊本 坂口	日付 13. 11. 29	尺度 1 : 15	品番
備考 設備工事（単独配管）（1 / 3）				図番 UAXC=14

水道水仕様



注1：ねじサイズ R1 銅管以外と接続の場合、必ず保護継手を使用してください。

注2：洗浄管：φ31.75（自動フラッシュバルブに含まれます）

注3：FV用の給水管径は25Aとしてください。

注4：排水は末端の呼び径100で準備ください。

注5：ラインク内から配管床抜きする場合は床開口禁止範囲（スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）を避けた位置から取り出してください。

注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取り、取っ手をください。

参考：カクダイ（品番：2211・2216）相当品

注7：フラッシュバルブ同捆洗浄管の長さの範囲で接続可能範囲を示しています。

注8：通気管と汚水管の接続は水上側の器具管で接続してください。詳細は（3/3）参考図面を参照してください。

注9：給水管呼び径は連数に応じて都度設計してください。1連横引きの場合は、呼び径は25A以上としてください。

注：給水には最低必要水压（流動時）0.07MPaを確保してください。（最高水压（静止時）0.75MPa）

注：壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを避ける位置に配管を立ち上げてください。

再生水仕様

140以上
45 (通気管)

95~155 (洗浄管)

注7

注6

注7

327 (洗浄管) (363~378)

管端防食継手 (給水専用) としてください

床仕上面

50 (水道水)

60 (再生水)

注1

R1

管端防食継手 (給水専用) としてください

116

740~880 (通気管)

385~460 (再生水)

270~300 (水道水)

注3 給水呼び径: 25A

305 (水道水)

注4 VPまたはVU100 勾配1/100

器具心

壁仕上面

120 120

注8 通気管50A

注9 VLP32A以上

CLライン

93

便器上面

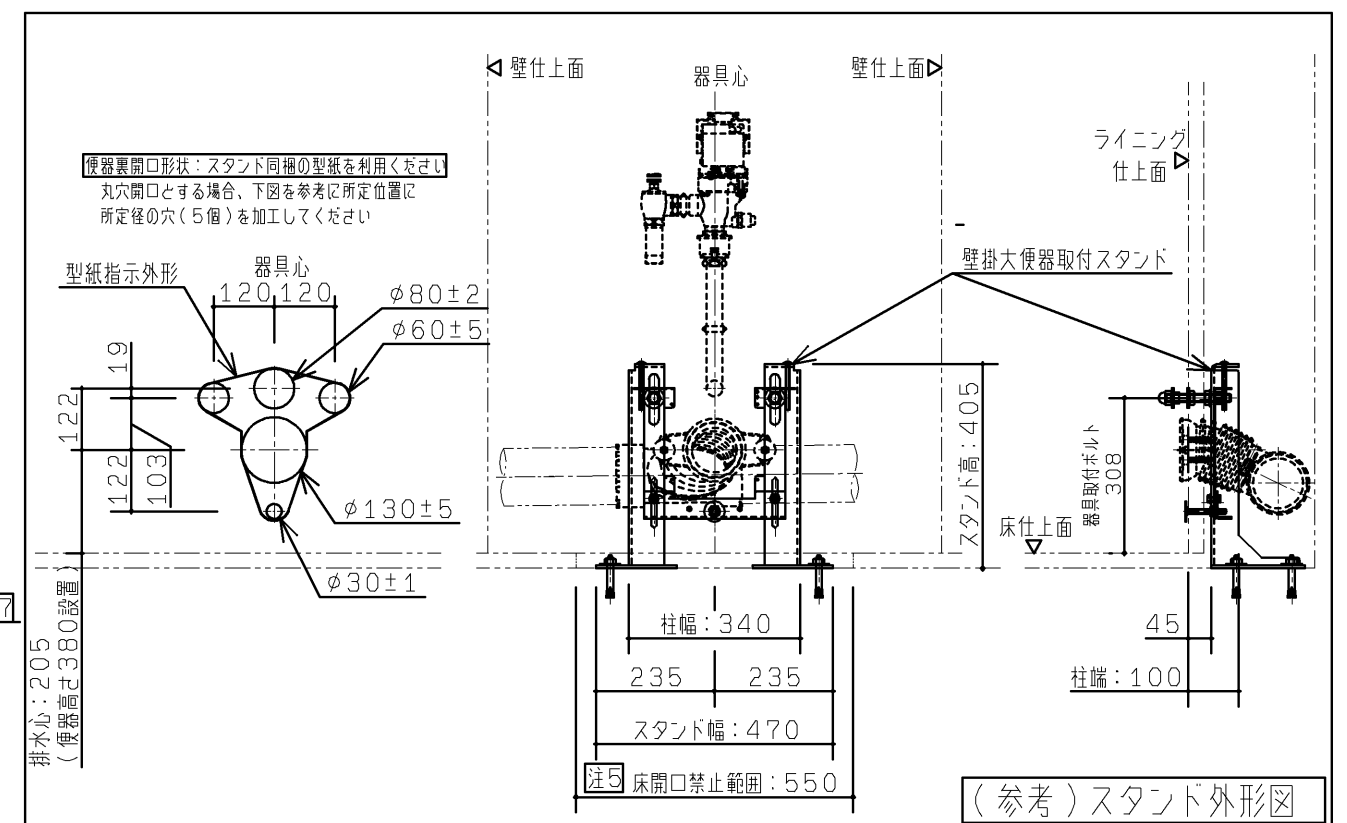
150以上

(便器上面: 380)

(690~705)

注7

VLP20A

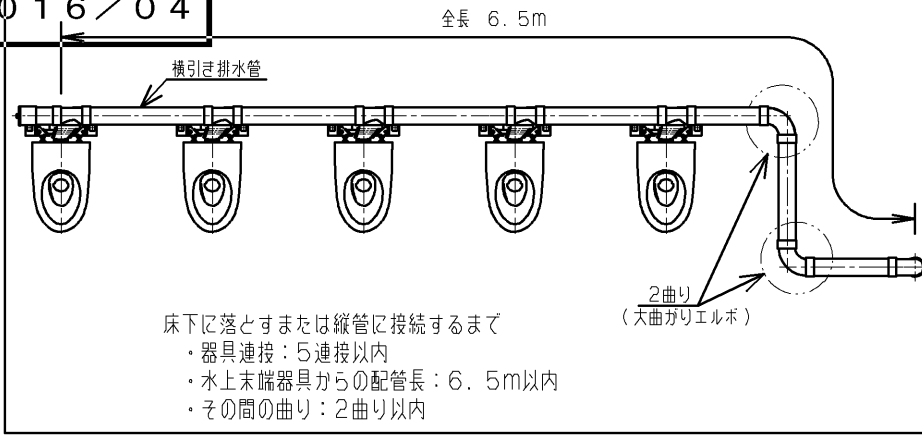


TOTO		第三角法	単位 mm	名称 壁掛6L大便器セット事前施工情報
製図 占部	検図 熊本 坂口	日付 13. 11. 29	尺度 1:15	品番
備考 設備工事（横引配管）（2/3）				図番 UAXC=15

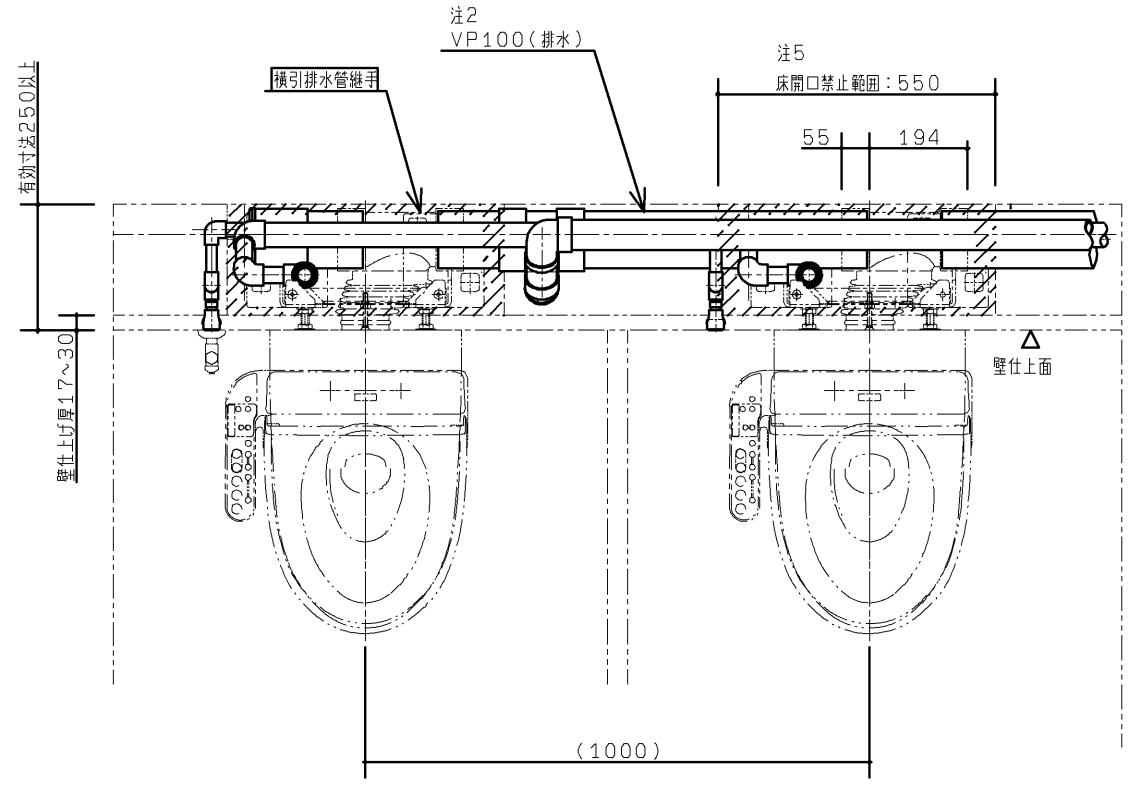
生産中止図面
2016/04

床上横引き排水 推奨配管条件

横引き排水管内に汚物を滞留させないために以下の配管条件を推奨します



- 床下に落とすまたは縦管に接続するまで
- ・器具連投：5連投以内
 - ・水上末端器具からの配管長：6.5m以内
 - ・その間の曲り：2曲り以内



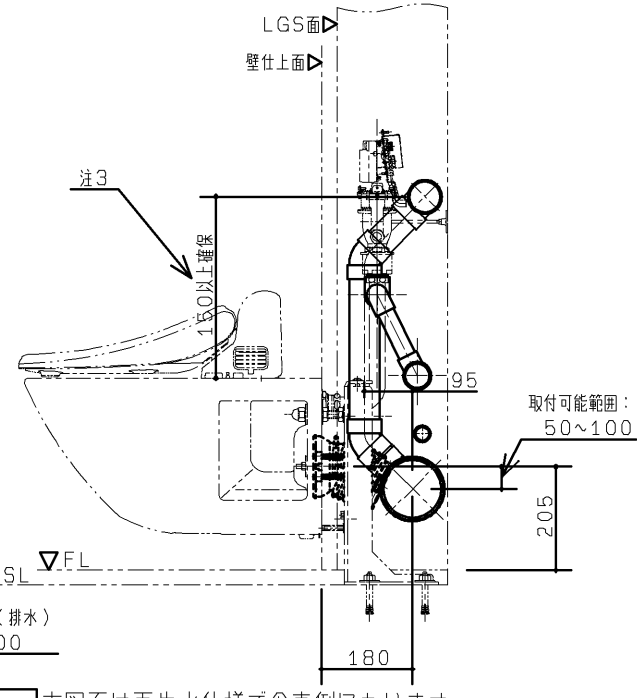
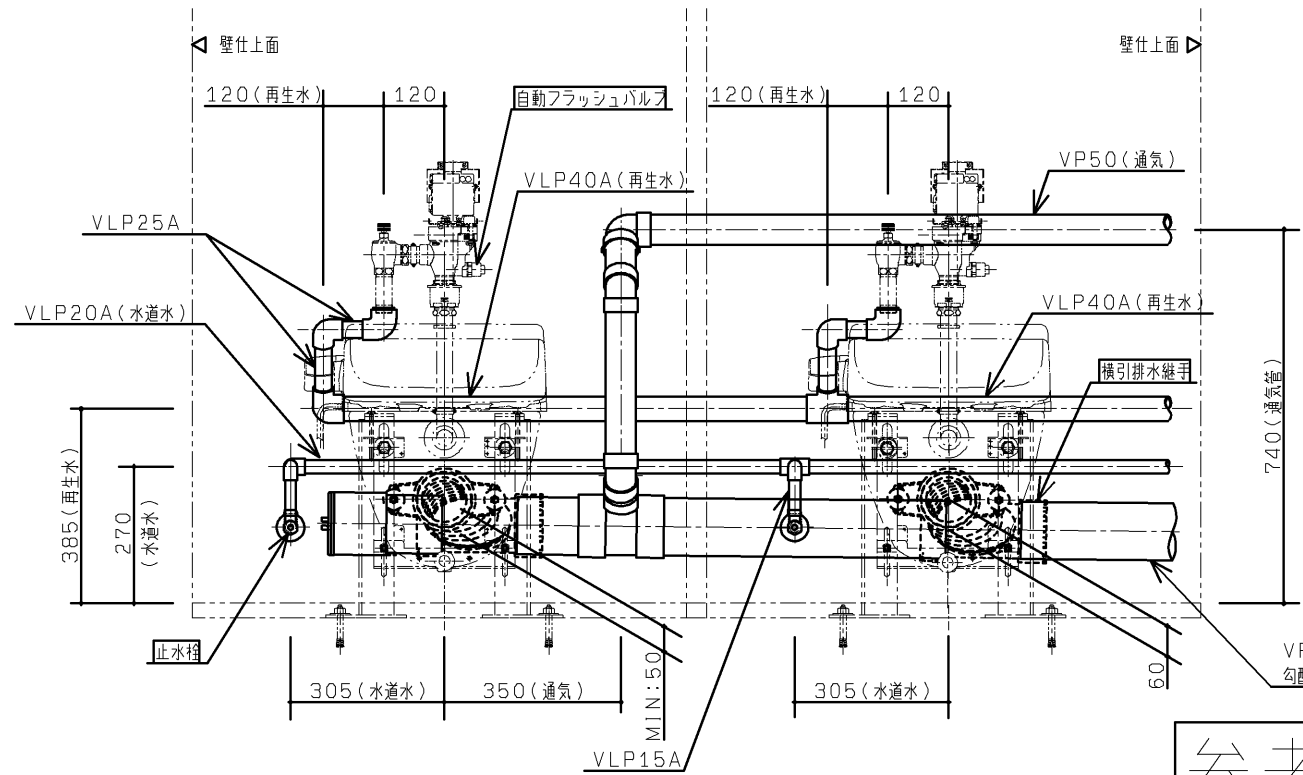
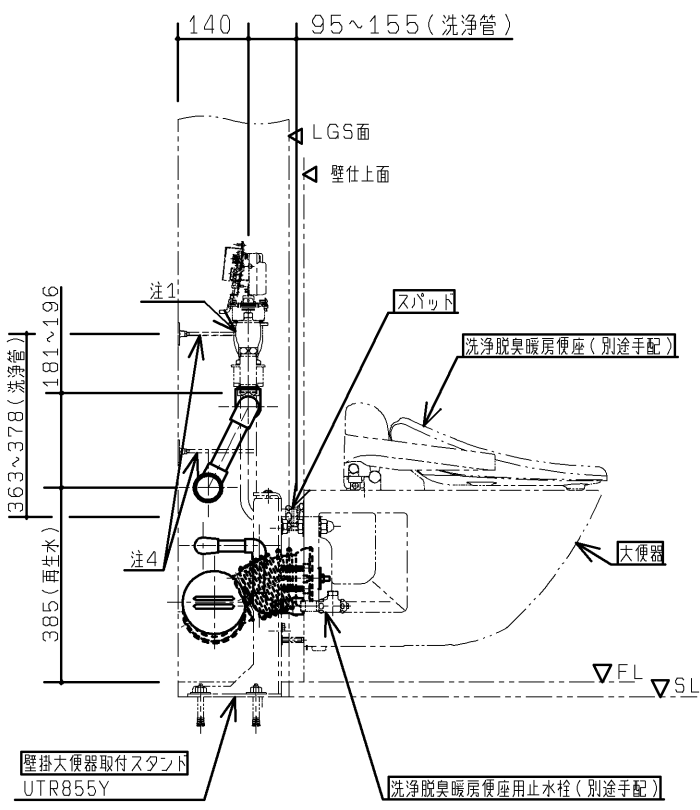
◆排水管を床上横引きする場合、器具は1系統5連投までとしてください。

◆配管は躯体又はLGSなどに固定してください。

※ 部に配管が位置しないようにしてください

◆壁掛大便器取付スタンド のベースプレート周囲40mmの範囲を避けた位置から配管を取り出してください。
この範囲内に床コンクリートの開口や欠損があるとアンカーボルトの必要強度が得られません。

- 注1：自動フラッシュバルブ止水栓
ねじサイズ R1 銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
- 注2：排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。
- 注3：通気管はふれ縁から150mm以上上方で、通気立管と接続してください。
- 注4：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。
参考：カクダイ (品番：2211・2216) 相当品
- 注5：ライニング内から配管床抜きする場合は床開口禁止範囲 (スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲) を避けた位置から取り出してください。
- 注：給水には最低必要水压0.07MPa (流動時) を確保してください。
(最高水压0.75MPa)
- 注：必要に応じて防火区画貫通部処理を行ってください。



参考 本図面は再生水仕様での事例になります。
水道水仕様の場合は、本図を参考に設計してください。
WL用の横引き配管は必要ありません。

※壁掛大便器専用ライニングに設置する場合はWL給水取り出し位置が異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

TOTO				単位	名称
第三角法				mm	壁掛6L大便器セット床上横引き配管例
製図	占部	検図	熊本	日付	品番
				14.03.11	UAXC=16
備考				図番	UAXC=16
設備工事 (横引き配管)				(3/3)	